

大鵬湾

王爺と釣り体験

国家風景区ガイド

観光スポット

大鵬湾国家風景区の範囲は大鵬湾と小琉球という二つの風景特定エリアを含みます。全面積は2,764ヘクタールです。大鵬湾風景特定エリアは台湾西南沿岸部の屏東県東港鎮と林邊郷の境に位置し、面積は1438.1ヘクタールです。大鵬湾の水域は台湾西南部沿海において最大の河口ラグーンです。年中穏やかな風が吹き寄せ、高波はありません。ポートやヨットといったマリンスポーツに最適の場所です。

鵬湾跨海大橋

南台湾における新しいランドマークです。大鵬湾の出口に位置し、台湾初の跳開橋で船舶の入出港が可能です。全長579メートル、橋の幅は40メートル、跳開度は75度にも達し、壮麗な眺めとなっています。特に休日午後の跳開ショーや夜間のライトアップはおすすめです。

- デザイン：三方向性デザイン、正面は伝説の鳥である大鵬の嘴、側面は帆船の帆、背面はアルファベットAを象っており、帆船で海洋を表しています。
- ライトアップ：時間：夏季：19:00-22:00
冬季：18:00-21:00
- 跳開ライブ：時間：休日・夏季：17:00
冬季：16:30
ライブタイム：約10分

ライトアップ

注意：跳開ショー時は交通が規制されます。車を橋桁の駐車場に停めてから橋の上にならなければなりません。早めに場所を確保しましょう。また、安全のため、風が強い場合は橋が開かないこともあります。特に台風の時期は大鵬湾管理処にご確認ください。



鵬湾跨海大橋



ライトアップ



映霞橋亭

大鵬湾国際レジャー特区

ここは元々は軍事関係の駐屯所でした。2003年に大鵬湾管理処に移管され、観光発展のために利用されるようになりました。現在も開発中であり、園内には水岸レジャーエリア、サーキット、東方リゾートホテル、飛行機観覧テラスなどが設けられています。将来は国際的な水上リゾートセンターになるように計画されています。

- 時間：09:00-17:00
休日：08:30-17:00



サーキット



風浪板

大鵬湾ビジターセンター

当ビジターセンターは自然と人文生態資源に恵まれています。大鵬湾について深く理解されたい方は、マルチメディア・フリーフィング・ホールで観光フィルムを鑑賞しましょう。当エリアの豊富な自然資源やレジャー情報、人文歴史を紹介したフィルムを鑑賞することで、大鵬湾の豊富なレジャー資源について理解することができます。ビジターセンターにはブックシェアリングのサービスもあり、本好きの人たちと一緒に読書の喜びを分かち合うことができます。そのほか、銅板拓印や記念スタンプコーナーもあります。お子さまや行楽客の皆様は、イラストを描いて拓本したり、記念スタンプを押したりする喜びを味わえます。ぜひ大鵬湾ビジターセンターに休息にお越しください。知性と感性を満たす空間となっています。

- 旅行に問い合わせ、飲み物と食事のサービスがあります。
- 時間：09:00-17:30



大鵬湾ビジターセンター



大鵬湾の王爺

入り江サイクリング道路

全長約12キロ。独立したサイクリング道路で、スポーツにもリゾートにも最適です。道沿いには漁村やマングローブ湿地帯、夕日、ヨット、ラグーン湖などを見ることができます。大鵬湾を満喫するには自転車での回るのがベストな選択と言えます。



入り江サイクリング道路

青洲シーサイドレジャーエリア

鵬湾跨海大橋の隣に位置します。ここではきめ細かい黒砂のビーチで波を楽しんだり、4輪バギーに乗って砂浜を駆け回ったり、水上バイクを体験したりすることができます。また、優雅な雰囲気「631カフェ」ではコーヒーを飲みながら鵬湾跨海大橋の跳開ショーを眺められます。

- 時間：09:00-17:00 (休日 09:00-19:00)

人工湿地-マングローブ

人工湿地は主に入り江の水質を浄化する役割を担っています。大鵬湾水域では大潭、鵬村、右岸、左岸、崎峰マングローブ生態公園、といった6箇所に湿地があります。総面積は50ヘクタールを超え、陸海の緩衝場となっています。動物のすみ処でもあり、環境教育を行うのに最適な自然の教室です。

濱湾公園

大鵬湾の西南側に位置し、細長い緑地帯はヨットやボートの停泊場となっています。園内ではヨット遊覧など、さまざまなマリンスポーツの体験コースをご用意しています。

- 飲み物と食事のサービスがあります。

カキ殻島

牡蠣の殻が堆積してきた島です。満ち潮時には海中に沈み、引き潮時には7,150メートル大にもなります。水面上に浮かぶ真珠のような島で、船に乗って上陸することもできます。バラエティに富んだ新鮮な牡蠣料理を楽しめます。



カキ殻島

自然生態

大鵬湾河口ラグーン地形の面積は532ヘクタールにも達します。沿海には6箇所に人工湿地が設けられており、合わせると50ヘクタールにもなります。ここでは豊かな動植物の生態系が育まれています。

マングローブ

大鵬湾人工湿地では台湾のマングローブ植物の育成に成功しています。ヒルギモドキ、ヒルギダマシ、オオバヒルギ、メヒルギを再生させました。その内、海と河の境には気根が目立つヒルギダマシが主に棲息しており、樹齢が70年あまりにも達しています。ここでは知的なマングローブのネイチャーツアーを気軽に楽しめます。



ヒルギ

ヒルギダマシ

シオマネキ (蟹)

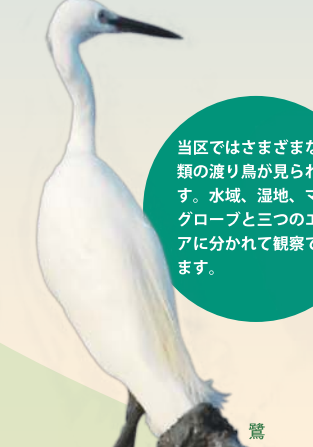
シオマネキ (蟹) には網状シオマネキ、ハクセンシオマネキ、北方凹指シオマネキ、三角シオマネキなどの種類があります。大鵬湾ビジターセンターには人の群れを怖がらないシオマネキが棲息しており、引き潮時は自然生態を楽しめる最高の教室となります。



シオマネキ (蟹)

鳥類

当区ではさまざまな種類の渡り鳥が見られます。水域、湿地、マングローブと三つのエリアに分かれて観察できます。主な鳥類は鶯科、チドリ科、クイナ科です。よく見られるのはシロガシラ、ヨシキリ、アオハチワドリ、褐頭鶯、メジロ、スズメ、斑鳩などの留鳥が比較的多いです。養魚場や湿地では鶯科のコサギ、チュウサギ、ダイサギとバンなどがよく見られます。



鶯

当区ではさまざまな種類の渡り鳥が見られます。水域、湿地、マングローブと三つのエリアに分かれて観察できます。

ちょっと寄り道スポット

東隆宮

主に温府千歳を祀っており、「王爺廟」とも呼ばれています。東港で最も重要な信仰の中心地です。広場前の黄金色に輝く豪華絢爛な牌楼(アーチ)は金箔で作られており、台湾中に名を馳せています。三年に一回「迎王平安祭典」が行われており、東港の信者たちの王爺に対する信仰の深さを垣間見ることができます。



東隆宮

東港漁港漁産品直売センター

一般向けの黄昏市場(夕方から開く市場)で、新鮮な魚介類で知られています。生きたエビや蟹、サザエ、貝、魚など何でもあります。新鮮で値段も手頃なため、グルメたちに愛されています。その場で料理してくれる店もあり、自分の目で食材を選び、お好みの調理法を指定することができます。ぜひ味わってみてください。

- 利用時間：11:00-19:00



東港漁港漁産品直売センター



林邊苦仗寮

林邊苦仗寮

在来線の台鉄林邊駅のそばにある苦仗寮は、元は鉄道職員が当番する際に用いていた宿舎でした。その後、仁和村が引き取り、休憩スペースに整備しました。しかし、2009年8月8日に発生した大水害により苦仗の作は一晩にして壊れてしまし、苦仗寮には今もなお台風災害の痕跡が残っています。ここ数年、村人たちのボランティア活動により、花々が咲き誇り、きれいな「流木芸術展示館」へと生まれ変わりました。「苦仗寮」は緑化リゾートとコミュニティ経営のモデルスポットとなっています。

Q: なぜ大鵬湾の鵬湾大橋は、開閉可能な跳開橋にしたのでしょうか?

東港漁業文化展示館

館内では百年にわたる黒マゴロ油魚子(バラムツの卵)、カジキなどの漁業や漁獲に関する記録や方法が詳しく紹介されています。また、「迎王平安祭典」や東港老街の発展、建造物の特色なども歴史に沿って紹介しており、東港文化を知るのにベストな場所です。

- 開館時間：10:00-17:00 (月曜日休館)



東港漁業文化展示館

海鮮ストリート

東港鎮光復路には海鮮レストランが多数集まっているため、「東港海鮮ストリート」と呼ばれています。行楽客だけでなく、地元の人たちにも人気のスポットで、「海鮮料理を食べるならここ」と言われています。林邊郷台17号線の中山路両脇にある海鮮レストランでは主に東港より水揚げされた魚介類と大鵬湾やその沿海地域で養殖された魚介類を用いています。新鮮かつ値段も手頃です。



東港海鮮ストリート

林邊海鮮ストリート

光采湿地

アクアソーラーとは、ソーラーパネルと天然養殖を結びつけたユニークなものです。公共芸術と環境が対話したのもでもあります。林邊の人々はレンプやハタ、胡蝶蝦だけでなく、大自然との付き合いも上手で、より多くの独自の遊び方を体験させてくれます。

写真・文提供：林仔邊自然文生保育協会
お問い合わせ先：886-8-8753794



光采湿地

新鮮

